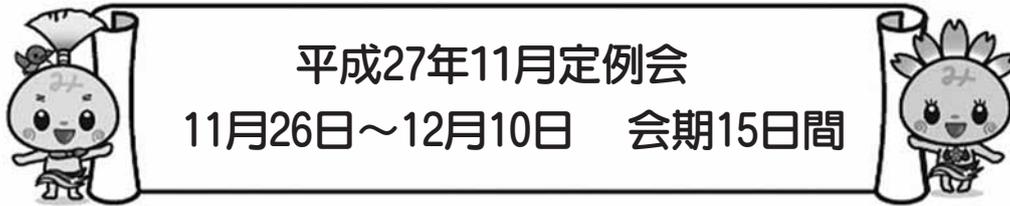




第26回 MOA美術館三島児童作品展
三島市議会議長賞 北上小学校 6年 うえむられおな 上村玲於凧さん

11月定例会 会期 11月26日(木)~12月10日(木)	
11月定例会の概要	2
市政に対する一般質問	4
行政視察レポート、議会の活動	10
議会報告会を開催しました	12



平成27年11月定例会
11月26日～12月10日 会期15日間

今回の議案は…

- 市長提出議案 17件
- 議員提出議案 3件
- 請願・陳情 1件

計21件

今号では、この中から
次の3件を Pick Up ☆

すべての議案名と結果など詳細は、
三島市議会ホームページをご覧ください。

Pick Up
1

一般会計予算を増額補正します。

<議第69号> 平成27年度三島市一般会計補正予算（第4号） 【全会一致】

職員構成の変動などに伴う人件費の減額を行う一方、障害福祉サービスの利用者増加などに伴う自立支援給付等事業のほか、観光振興事業などの増額補正を行いました。

【一般会計補正予算（第4号） 3億3,224万円】

（歳出の主な内容）

●自立支援給付等事業	1億6,966万円
●観光振興事業	5,702万円
●市道維持修繕事業	3,000万円
●市立保育園管理運営事業	2,460万円
●健康診査事業	1,840万円
●県道修景整備地元負担金	1,359万円
●消防広域化準備事業（市単独分）	576万円
●三島市、裾野市及び長泉町消防広域化推進協議会負担金	141万円
●職員構成の変動など決算見込みによる人件費	△1億1,675万円



佐野あゆみの里 作業の様子

Pick Up
2

地域社会全体で中小企業の振興を図り、活力ある三島市を目指します。

<議第77号> 三島市中小企業振興条例 【賛成多数】

中小企業は地域産業の活性化、雇用機会の創出などを通じて地域社会の根幹を支えてきただけでなく、防犯活動や災害時の協力など、地域社会の重要な担い手となっています。

そこで、中小企業の振興を図るため、市および中小企業者の責務や大企業・関係団体・市民の役割などが条例に定められました。

また、「三島市がんばる中小企業応援会議」が設置され、現場の声が施策に反映されます。

Pick Up
3三島市、裾野市および長泉町の2市1町による
「富士山南東消防組合」の設立に向います。

<議第74号> 富士山南東消防組合の設立について 【賛成多数】

平成28年4月から、三島市、裾野市および長泉町が消防組織を統合して、消防事務等を共同で処理することになります。

今後もなお一層の少子高齢化の進展が見込まれる中で、大規模災害への対応力強化はもとより、市町境を越えた最寄りの署所からの消防・救急車両の出動が可能となり、消防救急力の強化が図られます。また、財政的メリットも見込まれます。

議第74号に対して議員が討論を行いました

主な賛成討論

- 三島市は今後、人口減、税収減が予想されるが、将来の消防力を維持・強化するために広域化を選択する。
- 平成26年の救急出動件数は4,418件で、火災・救急出動件数の99.4%を占め、裾野市、長泉町に比べ高齢化率の高い三島市の救急出動増加に対応するために必要である。
- 広域化に伴う署所および車両の整備に対し、交付税措置がされることにより、約10億円の財政負担の軽減につながる。
- 大規模災害に対応する消防活動車両の燃料を確保するための地下給油備蓄タンク、消防本部などの非常時の自家発電機の整備が可能となる。
- 風水害の被害を受ける可能性が高い中郷地区において、中郷分遣所に救急車が配置されることにより、救急力を強化することができる。

主な反対討論

- 広域化に関する情報の市民への周知が不足。
- 職員の勤務体制や給与制度などが、関係市町と未だに合意されていない。
- 北上分遣所がなくなり、徳倉・芙蓉台地区が消防の空白地域となっており、改善されるのは4年後となっている。
- 中郷分遣所の整備予定は8年後に先送りとなる。
- 新しい消防施設に現在の3倍規模の建物を約10億円もの税金をつぎ込むことには疑問がある。
- 三島市の車両が他市町へ出動中に、市内で事案が発生した場合に対応が遅くなる。
- 広域化により管轄区域は現在の3.6倍になる。車両は1台減らしても基準に適合するが、職員を増員する予定はないため、消防力低下の恐れがある。
- 消防団との連携が困難になる。
- 現状の予算より多くの予算が必要になる。

付帯決議

富士山南東消防組合の設立に関して、議員17人から付帯決議案が提出され、賛成多数で可決されました。その内容は、組合の設立意義や今後の運用など、再度、市民への正確な情報提供を図り、併せてスケールメリットを生かした消防力の向上に向けて、特段の配慮をするよう強く求めるというものです。

請願

上記議案に関連して「消防広域化の審議の継続を求める請願」が提出されましたが、賛成少数で不採択となりました。

付帯決議ってなに？

議決された議案などに対して、施行について意見や希望などを表明する決議のことです。



市政に対する 一般質問

12月
3・4・7・8・9日

発言順

土屋 俊博

(改革みしま)



駿豆水道中島浄水場

■三島市の水道事業の健全経営における諸課題

- ◎ 県営駿豆水道における契約水量と実使用水量に差がある。その解消に向けた市の対応を伺う。
- ◎ 水道水の販売損の発生や老朽管・老朽施設の更新に、今後多額の資金を必要とするなど多くの課題があるが、その対策を伺う。
- ◎ 県営駿豆水道の受水費の低減交渉やさらなる経費の節減、効率的な事業運営などを行うとともに、平成28年度に水道事業審議会を開催し、適正な水道料金をはじめとしたさまざまな問題について審議していきたい。

◎ 関連する2市1町で平成26年度に駿豆水道利用者協議会を立ち上げ、首長の連名で静岡県企業局に要望書を提出した。現在駿豆水道利用者協議会運営部会で契約水量の見直しや基本料金の減額に向けた交渉を行っている。

服部 正平

(日本共産党議員団)

【他の質問事項】

- 住民サービス低下を防ぐ職員の労務管理



■自主運行バスの利用促進

- ◎ 費用対効果を考え、現在3路線ある自主運行バスの運行経路、形状を見直す中で、空白路線への新たな運行を検討できないか伺う。
- ◎ 費用対効果を考え、現在3路線ある自主運行バスの運行経路、形状を見直す中で、空白路線への新たな運行を検討できないか伺う。
- ◎ 自主運行バス事業は、赤字路線を理由とした民間事業者の撤退を受けて事業化している。路線の拡張などを行うと、市負担額の実質的な増加を招く恐れとともに、既存利用者へのサービス低下が危惧され、慎重な対応が必要と考える。

■高齢者バス等利用助成事業の利用拡大

- ◎ 高齢者のさらなる外出支援策として、公共交通空白地域の在住者がタクシーを利用できるようにすべきではないか。
- ◎ タクシー利用は、高齢者の外出支援の一助となると考えられるが、助成の拡大に向けては、財政負担が大きいことから、今後研究し、判断していく。

伊丹 雅治

(改革みしま)



三島市 TPP 対策会議

■三島市における TPP の影響と対応

- ◎ 地域経済全体を考える上で、当市は TPP に対し、どのような対応をするのか。
- ◎ J A 三島函南や三島商工会議所など関係団体に市を加えたメンバーで、仮称三島市 TPP 対策チームを設置して市場動向の分析や対応策などを検討し、その結果を三島市ががんばる中小企業応援会議や J A と調整の上実施する。

■三島市商工業戦略アクションプラン

- ◎ 箱根西麓地域の新たな観光資源である箱根西麓・三島大吊橋から市街地へ誘客する施策はあるのか。
- ◎ 大吊橋やフルーツパークの施設内に大型看板を設置し、市街地の魅力を PRするとともに、大吊橋のバス停新設や路線バスの増便、定額タクシーの運行など、各事業者の協力により交通網の充実に努め、市内への誘客に取り組む。

弓場 重明

(フォーラム三島)



南二日町広場

■三島市スポーツ行政の現状と課題

◎施設・空間の環境づくりの一環として、三島市スポーツ施設整備計画にある総合運動場建設の現状と今後について伺う。

▲総合運動場の整備については、平成26年度に総合運動公園可能性調査を実施し、分散型での整備を視野に入れて候補地の選定を行うなど、整備の可能性について調査・検討を継続している。

◎三島市スポーツ審議会としては、三島市のスポーツをどのように位置付け、どの方向に導いていこうとしているのか伺う。

▲現在審議会に諮問している仮称三島市スポーツ推進計画では、スポーツの定義をレクリエーションスポーツや健康づくりなどを含む幅広い概念として捉え、健幸都市づくりの一翼を担うものとして審議していただいている。

藤江 康儀

(改革みしま)



三島駅北口ロータリー

■三島駅北口広場ロータリーの拡幅

◎三島駅北口付近の渋滞緩和策として、貨物引込線を購入し、ロータリー拡幅など整備をしてはどうか。

▲将来的には貨物引込線を含めたロータリーの拡幅整備を考えているため、用地を取得し、当面は北口広場から車両が通り抜けできるための市道として整備し、ロータリー内の交通混雑の緩和を図りたい。

■子育て世代施策

◎待機児童ゼロをめざし、市内の保育園の拡充と、公立保育園の一時預かり保育について伺う。

▲三島市子ども・子育て支援事業計画により新設民間保育園1園と、定員増を行う民間保育園1園の施設整備を行い、平成29年度に90人の受入枠拡充を図る。公立保育園の一時預かり保育はニーズが高く、今後全園での実施を検討する。

大房 正治

(緑水会)

【他の質問事項】

今後の三島市の観光資源の発掘



三島駅南口東駐車場

■三島駅南口東街区開発の進捗状況

◎市民の関心が高い三島市の顔である三島駅南口東街区の開発において、地権者との話し合いの合意状況について伺う。

▲組合施行の市街地再開発事業において地権者の合意は最も重要であるため、個別意向調査の実施のほか、再開発通信発行や戸別訪問の実施など、定期的な意向・意見の把握と情報共有により、合意形成に努めている。

■人口減少問題解決のための子育て支援

◎保育料は兄弟姉妹が3人以上通園の場合3人目は無料だが、兄弟姉妹の通園に関わらず第3子以降は無料にしてはどうか。

▲三島市では保育園保育料を国の基準から平均約40%軽減しており、保育園を利用するすべての家庭の経済的負担軽減に努めている。さらなるサービスは、現在の三島市の財政状況では難しく、今後検討していきたい。

18人の議員が行った主な質問について、寄せられた原稿を掲載します。

野村 諒子

(フォーラム三島)

【他の質問事項】

ひとり親家庭の状況把握と取り組み



上岩崎公園

■上岩崎公園駐車場の今後の整備

◎上岩崎公園の駐車場が道路計画のため使用できなくなるが、近隣の未使用の市有地を駐車場として整備できないか伺う。

▲上岩崎公園の北側の市有地を駐車場として整備することができれば、現在使用している駐車場よりも公園に近くなり、利便性、安全性が図られるため、今後駐車場として利用できるか検討していく。

■三島駅北口周辺のにぎわい創出

◎増加する宿泊型観光客への対応として、三島駅北口周辺の市有地を活用し、土産物販売所の誘致などにぎわい創出はできないか伺う。

▲三島駅北口広場の機能拡充や渋滞解消に向けた取り組みなど、今後の北口広場のあり方を検討する中で、土産物販売所の誘致やにぎわいの創出についても検討していく。

杉澤 正人

(改革みしま)



小学校6年生授業風景

■授業用電子黒板の活用と推進

◎今年8月から小学校に導入された電子黒板の今後の活用が期待されるが、中学校への導入はいつ頃を考えているか。

▲小学校の様子からも、電子黒板は大変学習効果が高いと認識しており、中学校の整備についても来年度に向けて検討をしているところである。また、教師用デジタル教科書についても合わせて整備したいと考えている。

■楽寿園内にある三島市郷土資料館の運営状況

◎入館者数だけでは計れない郷土資料館の内実的価値を、どのように考えているか。

▲入館者数は本来の目的達成度を評価する指標の一つである。今後も入館者数を増やす努力を重ねるとともに、公開展示の充実や体験学習を主とした教育普及事業にも重点を置き、郷土についてもっと知っていただけるようにしたい。

堀江 和雄

(公明党)



納骨堂 (イメージ)

■市営墓地と納骨堂

◎平成26年度に実施した三島墓園納骨堂に関する調査結果を踏まえた新たな納骨堂の建設整備計画と事業スケジュールを伺う。

▲三島墓園内に唯一残された平坦地約250㎡に、建築面積76㎡、鉄筋コンクリート平屋建て、合葬式で約2,000体の焼骨が収蔵可能な納骨堂を計画している。スケジュールは財政状況や民間の整備状況を勘案した上で、今後検討していく。

■防犯灯のLED化推進事業

◎平成27年7月に事業のプロポーザルが行われたが、現在の進捗状況と今後のスケジュールを伺う。

▲市内の防犯灯についての調査業務が完了し、平成27年12月からLED照明への付け替えを始めた。平成28年1月末までに、6,884灯の付け替えが完了し、平成28年4月には10年間の保守管理を含むリース契約締結の予定である。

下山 一美

(日本共産党議員団)



三島市立東幼稚園

■子育て支援としての市立幼稚園の預かり保育の実施

◎県内では58.6%の市町で実施されている公立幼稚園での預かり保育を、ニーズに応じて設備や人員を整え、早期に実施してはどうか。

▲昨今の公立幼稚園における預かり保育のニーズの高まりを受け、三島市においても預かり保育の必要性を十分認識しており、早期実施に向けて、今後幼児の健康と安全を考慮したより詳細な検討を進めていく。

◎非婚ひとり親への寡婦控除のみなし適用について、これまで議会でも再三取り上げられたが、来年度からの実施を求めるがどうか。

▲非婚であっても、ひとり親家庭であることに変わりはなく、保育料が家計に与える影響を考慮すると、寡婦控除のみなし適用は必要と考えるため、平成28年度から実施することを検討していく。

中村 仁

(緑水会)

【他の質問事項】

□東部・伊豆地域を見据えた観光ルートの確立



FMみしま・かなみ (ボイスキュー)

■FMみしま・かなみと三島市民との関係

◎近隣市町や浜松市など行政からコミュニティFMへの歳出額を踏まえ、三島市からFM局への歳出額についての評価を伺う。

▲FM局への歳出額は地域性があり、他市町と一概に比較するのは難しいが、FMみしま・かなみと同規模のFM局の放送料金単価を比較したところ、ほぼ同程度の金額であるので、妥当な金額と評価している。

■財政状況を踏まえた今後の公共料金

◎下水道を利用できない地域の市民の負担にも関わる下水道料金改定を、そのような地域の市民も参加し早期に検討すべきではないか。

▲平成29年4月からの企業会計移行により下水道事業の経営情報を総合的に把握することが可能となるため、市民に分かりやすい下水道料金のあり方なども含めて、資金マネジメントの面から考えていく。

岡田 美喜子

(新未来21)



企業の清掃活動の様子

■中小企業のCSR(地域貢献)を産業振興へ

◎産業振興対策として、三島市独自のCSRチェックリスト作成やCSR企業認証制度を創設して中小企業のCSRを推進してはどうか。

▲CSR企業認証制度は意義のある制度と考えている。みしま経営支援ステーションにおいて、経営者の意見も伺いながら、チェックリストの作成も含め、制度の必要性や先行事例の研究を行い、導入について検討していく。

■子どもたちのコミュニケーション能力向上策

◎ICTに囲まれて育った子どもたちの地域活動やボランティア活動を充実させるために、学校としてどのようなことを考えているか。

▲自治会などと連携し、活動の目的や教育的意義の共通理解を図るとともに、安全面の確認を行い、子どもたちが参加しやすい環境を整えていく。

大石 一太郎

(改革みしま)

【他の質問事項】

□西間門新谷線の早期完成と計画の前倒しを



療育支援室はつたばた分室 にこパル

■発達障害児・発達障害者 対策などへの取り組み

◎発達障害児・者の生涯にわたる社会の仕組みづくりを進めている私立学校があるが、三島らしい教育面からの取り組みはできないか。

▲特別支援学級設置学校の実態に応じて、児童生徒の交流や共同学習、通常学級の教室の間に特別支援学級を配置するなど取り組んでいる。特別支援教育コーディネーター研修会は幼保小中高の合同実施で当市の特色ある施策である。

■子育て支援策などの充実

◎少子化対策をより充実させるために、多子世帯に対する配慮として、3人目以降の子どもに対し、出産祝い金を支給してはどうか。

▲既に実施している自治体の取り組みが、合計特殊出生率の向上や少子化をくい止める解決策となっているかを研究・検証するとともに、限られた財源で有効な少子化対策を引き続き検討していく。

佐藤 寛文

(フォーラム三島)



空き家

■空き家の有効活用に向けて

◎平成27年5月に空家等対策の推進に関する特別措置法が完全施行されたが、市内の空き家の現状を伺う。

▲平成25年住宅・土地統計調査によると、市内の住宅総数は53,520戸と推計され、3カ月以上継続的に居住していない空き家総数は7,680戸、空き家率は14.3%となっている。

◎人口増加、定住促進に向けて、空き家の有効活用のサポートが必要と考えるが、今後当市の住宅政策にどう取り組んでいくのか伺う。

▲中古住宅の住宅診断を行い、その情報をホームページで紹介することで、流通を促進させ、利活用を図る。また、移住を希望する若い世帯に対して、住宅取得費用の一部助成やリフォーム工事についても補助を行っていきたい。

川原 章寛

(新未来21)



せせらぎ号

■立地適正化計画に伴うリスクの回避に向けて

◎郊外の住宅地において、生活利便性の悪化などが危惧されるが、市街化区域内における誘導区域の設定をどのように考えているのか

▲中心市街地のみならず都市機能を集約させるのではなく、北上・錦田・中郷などの各地域の拠点周辺に都市機能を誘導する区域を設定し、その周りに居住を誘導するようなエリアを設定することで利便性を確保していきたい。

◎都市機能の集約に伴い、地域公共交通網計画を策定し、デマンド型交通の導入などネットワークの拡充を図るべきと考えるがどうか。

▲高齢者や住民の利便性確保のため、中心市街地と各地域の都市機能誘導区域をつなぐ公共交通の充実や拡充は必要と考える。バス路線網やデマンド型交通などの導入について、先進事例を参考にしながら検討・推進していく。

土屋 利絵

(改革みしま)



三島市役所

■三島市の財政問題と公共施設統廃合問題

- ◎市の借金残高は毎年少しずつ増えており、今後はファシリティマネジメントの問題もある。借金残高をどのようにしていくのか伺う。
- ◎行政の事業について、市民や民間企業の自由な提案を募集する、民間提案型の公民連携制度の導入を検討してはどうか。
- ▲次世代の負担を軽減していくことは将来の発展に欠かせない重要な取り組みであることから起債の抑制に努めるとともに、市債残高の状況をあらゆる側面から捉え、将来負担を推計し、各年度の市債発行額を決める必要がある。
- ▲民間提案制度は平成25・26年度に雇用対策事業で実施した。民間提案型公民連携制度は、住民サービス向上や市の歳出抑制に有効な手段であることから、他の自治体の先進事例も研究し、制度実施の費用対効果や課題を検証したい。

村田 耕一

(公明党)

【他の質問事項】

- 子ども貧困対策としての学習支援室の設置状況



エアコン (イメージ)

■学校教育環境の整備と向上

- ◎国の学校環境衛生基準に基づき、全国でもエアコン設置に取り組んでいるが、三島市の小中学校の教室にも設置できないか伺う。
- ▲エアコン設置については、猛暑の期間である7月後半から8月後半までは夏休みになることや、電気料や維持管理費等も高騰するため、平成23年度から設置している扇風機により学校教育環境の整備と向上を図っていく。

■スクールカウンセラーの相談申込先

- ◎相談申込先は学校の先生となっているが、スクールカウンセラーの外部性利点を生かし、申込先の選択肢を増やせないか。
- ▲スクールカウンセラーの申込みは、学校のどの職員を通してでもできるが、より相談しやすい体制づくりを推進するために、三島市教育委員会の担当者が受け付けることも含めて研究していく。

佐野 淳祥

(改革みしま)

【他の質問事項】

- 中学の免許外教科担任をなくし、学力向上を



老朽化した楽器 (溶接の取れた管)

■中学校文化部の活性化

- ◎文化部は各校平均2部のみで、その6割強の生徒が吹奏楽部に所属している。また楽器の老朽化も顕著である。支援ができないか。
- ◎若い世代が注目するハンドメイド市の開催を
- ◎手作りの子ども服や雑貨などが人気だが、若い世代の活躍の場、食育、ものづくりなどの観点から、大規模開催できないか。
- ▲部活動の振興を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減するため、各中学校に部活動の活動費の一部を補助している。吹奏楽部の楽器については各学校が配当予算の中で計画的に修理、整備するよう努める。
- ▲小規模ながら市内で過去に開催した実績があるが、若い作家の創業を促し産業振興につながる仕組みであると考えている。早期開催に向けて、過去の手法や補助金を活用し、市内の回遊性を創出する運営方法を関係団体と検討したい。

18人の議員が行った主な質問について、寄せられた原稿を掲載します。

行政視察 レポート

3つの常任委員会が実施した行政視察の先進事例調査結果を、各委員長がお知らせします。
※詳細は市議会ホームページをご覧ください。

総務 7 / 28～30	大分県中津市 …地域公共交通の再編 福岡県大牟田市…公共施設維持管理計画 熊本県熊本市 …動物愛護事業
福祉教育 10 / 6～8	山口県周南市…コミュニティスクール(学校運営協議会) 香川県高松市…高齢者居場所づくり事業 兵庫県尼崎市…地域社会の子育て機能向上支援事業(子育てコミュニティソーシャルワークの実施)
経済建設 10 / 7～9	群馬県館林市 …中小企業振興基本条例 群馬県高崎市 …まちなか商店リニューアル助成事業 茨城県ひたちなか市…勝田駅東口再開発事業

総務委員会

中津市



中津市の公共交通48路線のうち、路線バスはすべて赤字であり、市の財政負担額が年間約7,000万円にも上ることから、今後を見据え、平成26年度に地域公共交通網形成計画を策定し、地域公共交通の再編が推進されました。幹線バスと支線バスの構築、コミュニティバスや路線バスの見直し、住民の利用促進などに取り組んでいました。

大牟田市



今後の人口減少、財政状況を見込み、平成26年度に公共施設維持管理計画が策定されました。専門部署を設置し、原則施設の新設は行わず、優先度の低い施設は統廃合を基本とし、今後30年間で20%の建物縮減と長寿命化の推進を目標とするなど、積極的に取り組んでいました。三島市でも同様の課題を抱えており、参考にしたいと感じました。

熊本市



熊本市動物愛護センターでは平成14年から殺処分ゼロへの運動が始まり、行政、民間で一体となり取り組んでいます。平成26年には犬の殺処分ゼロが達成されました。動物の安易な受け入れをせず、引き取ってくれる里親を増やし、小学校での愛護教育や、迷子動物を減らす運動などを積極的に展開しており、三島市でも参考にしたいと感じました。

議会の活動

〔10月〕

- 1日 本会議(議案審議)、議会報告会全体会議
- 5日 議会だより編集委員会
- 6日～8日 福祉教育委員会行政視察
- 7日～9日 経済建設委員会行政視察
- 8日 東部地区市議会議長会(御殿場市)
- 16日 議会報告会街頭広報
- 22日 東海市議会議長会理事会・研修会(可児市)

23日 議会報告会運営会議

- 27日 静岡県市議会議長会正副会長監事会議・定期総会(藤枝市)
- 30日 議員説明会

〔11月〕

- 6日 議会報告会(市民活動センター、中郷文化プラザ、消防庁舎)
- 7日 議会報告会(総合防災センター、北上文化プラザ、錦田公民館)
- 10日 全国市議会議長会評議員会(東京)

<h1>福祉教育委員会</h1>	<h2>周南市</h2> 	<h2>高松市</h2> 	<h2>尼崎市</h2> 
	<p>中学校区を一つのまとまりとする「地域協育ネット」としての取り組みが平成23年度から始まり、「周陽中学校運営協議会」を「地域協育ネット協議会」とも兼ねて体制づくりが行われています。運営協議会に関わるすべての人が、子どもたちの「生きる力」を育む必要性を理解し、共有している様子が見られ素晴らしい取り組みであると感じました。</p>	<p>高松市では、高齢者が健康で生きがいを持ち安心して暮らし続けられる社会の実現を理念とし、社会参加、生活支援、見守り、居場所づくりの拡充の取り組みが推進されており、平成28年度までに300カ所の高齢者の「居場所」づくりを進めています。地域による温度差や「居場所」の掘り起こしなど、課題解決に注目したい事業だと感じました。</p>	<p>尼崎市では、子どもの育ち支援条例を制定し、子どもを取り巻く社会環境の改善につなげるため、地域での主体的な取り組みやネットワークづくりが行われています。「子育てコミュニティワーカー」を設置し、地域の気軽な困りごとの相談や子育てに関する活動団体の相談、団体交流間の相談なども行っている点は参考にしたいと感じました。</p>
<h1>経済建設委員会</h1>	<h2>館林市</h2> 	<h2>高崎市</h2> 	<h2>ひたちなか市</h2> 
	<p>館林市は、「中小企業振興基本条例」を制定し、商工業が盛んで活力あるまちづくりに先進的に取り組まれています。中小企業振興会議を設置し、市に提言できる仕組みをつくることで施策を総合的に推進しやすくなりました。また、伴走型個別事業者支援により中小企業と市がともに振興を図っていこうという強い決意が感じられました。</p>	<p>「まちなか商店リニューアル助成事業補助金」は、事業者のやる気と商業の活性化により、市内全体を盛り上げていくことを目的としています。その対象は市内の店舗という広い枠組みで、空き店舗での創業のみならず、既存店舗の改装や備品購入も含まれていました。さらに、その発注先を市内業者に限定することで経済の市内循環が図られていました。</p>	<p>勝田駅東側地区は、老朽化した低層建築物が多く、賑わいの欠如と防災上の課題を有していました。しかし、保留床の処分に目処が立たないなど、大きな課題を抱え事業自体が一度頓挫したものの、身の丈にあった規模にすること、民間活力を導入することにより、事業費を削減し、資金面での市のリスクを限りなく抑えることに成功した事例でした。</p>

- 10日 富士箱根伊豆交流圏市町村サミット (富士市)
- 16日 東部地区6市4町議会議長連絡会 (裾野市)
- 19日 各派代表者会議、議会運営委員会、議案説明会
- 24日 議会報告会運営会議
- 26日~12月10日 11月定例会
- 26日 各派代表者会議、本会議 (議案審議)

- 30日 経済建設委員会、総務委員会 [12月]
- 3日 各派代表者会議、議会運営委員会
- 3日~9日 本会議 (一般質問)
- 10日 本会議 (議案審議)、議会運営委員会
- 15日 年末の交通安全県民運動街頭広報、議会報告会運営会議
- 16日 議会だより編集委員会
- 22日 議会だより編集委員会



議会報告会を開催しました ～みしまの未来を語ろう！～

三島市議会では、平成27年11月6日および7日に議会報告会を行い、3つのテーマ別に開催し、グループごとに意見交換会を行いました。皆様のご意見などは、今後の議会活動を通じて、三島市のまちづくりへとつなげていきたいと思っております。

テーマ	こんな意見が出ました	
これからの子育てを考える		<ul style="list-style-type: none"> ●子育てイベントや母親のネットワークがほしい。 ●公立幼稚園の多人数学級に必要な教員の配置の検討を。 ●産後1カ月が大変。産後のサポートの充実を。 ●母親の就労につながるように、預かり保育の検討を。
南口駅前の再開発はどうあるべきか	<ul style="list-style-type: none"> ●市民にとって魅力ある計画、施設でなければならない。 ●南北自由通路、市役所移転、複合施設型などの検討を。 ●駅ビルを三島らしさのシンボルにする。 ●将来住み続ける若者世代の声を組み込む。 	
未来の公共交通を考える		<ul style="list-style-type: none"> ●公共交通の実態、コミュニティバスの運行維持の経費など、市民に現状を認識してもらおう努力をすべき。 ●バスの運行時間や便数を増やしてほしい。 ●高齢化と公共交通は一体的に考え、早めの対策を。

活動の紹介

平成27年12月15日
年末の交通安全県民運動一斉街頭広報



平成28年1月12日
議員研修会



2月定例会の予定

- 2月22日(月) 本会議 (議案審議)
- 2月29日(月)～3月1日(火) 本会議 (代表質問)
- 3月2日(水)～9日(水) 常任委員会 (予算審査)
- 3月11日(金)～15日(火) 本会議 (一般質問)
- 3月17日(木) 本会議 (議案審議)

いずれの日も
午後1時からの
開会予定です。

お聴かせください。



議会だより
編集委員会

- (委員長) 岡田美喜子
- (副委員長) 中村 仁
- (委員) 伊丹 雅治
- (委員) 野村 諒子
- (委員) 村田 耕一
- (委員) 服部 正平